

施策番号	1302		
施策名	子どものいのちと人権が大切にされるまちづくり		
概要	児童虐待対策と被虐待児をはじめとした養護等が必要な子どもへの支援を進めるとともに、障害や疾病等のある子どもに対して成長に応じた切れ目のない支援を行う。		
担当局・部室	保健福祉局・子育て支援部	共管局・部室	
上位政策	13 子育て支援		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市未来こどもはぐくみプラン(2015～2019)		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		26年度	27年度	28年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	虐待相談に対し速やかに対応(48時間以内)した件数の割合(%)	b	b	98.0	96.6	100	96.6%	b	1.00
2	虐待相談ホームページアクセス件数(件)	d	d	98,319	43,359	108,151	40.1%	e	0.50
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		c	c	客観指標総合評価				c	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度	27年度	28年度回答					
				そう思う	どちらかと言う そう思う	どちらとも言 えない	どちらかと言う そう思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	京都では、子どものいのちと人権が大切にされている。	b	b	46 9.6%	158 33.1%	226 47.3%	30 6.3%	18 3.8%	478
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		b	b	市民生活実感調査総合評価					b

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている						
	重み付け	☒ 客観指標	c	☐ 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 児童相談所における児童虐待防止という対象者が限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果が反映されにくいと考えられるため、客観指標を重視する。						27年度	C
(原因分析) 客観指標総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・ホームページアクセス数については児童虐待に対する社会的関心の高まりを受け、平成24年度には第二児童相談所開設の影響もあって141,903件を記録したが、25年度からは減少が続いている。減少要因としては、近年急速に普及しているスマートフォン用のサイトに対応していないことなどが考えられる。						26年度	C
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		28年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		27年度 決算額	28年度 予算額		
1	障害児保育対策	754,717	845,885	良い	保健福祉局
2	児童福祉施設措置費(児童)	35,348	30,569	かなり良い	保健福祉局
3	子育て支援短期利用事業	66,241	63,094	良い	保健福祉局
4	学童クラブ障害児対策	118,406	103,409	かなり良い	保健福祉局
5	里親制度の推進	12,124	12,506	良い	保健福祉局
6	児童福祉施設単費援護事業	20,953	23,535	良い	保健福祉局
7	養護施設・母子生活支援施設育成事業	1,597	1,580	良い	保健福祉局
8	育児支援家庭訪問事業	83,350	93,149	良い	保健福祉局
9	身元保証人確保対策事業	2,391	2,422	かなり良い	保健福祉局
10	児童虐待防止啓発事業	5,648	6,031	良い	保健福祉局
11	自立援助ホーム運営補助	6,888	4,449	普通	保健福祉局
12	児童福祉センター管理運営	1,867,696	1,897,083	良い	保健福祉局
13	児童養護施設等における学習環境改善	2,880	0	—	保健福祉局
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・児童相談所に寄せられる虐待通告に対し、引き続き48時間以内の児童の安全確認を実施する。
 ・児童虐待の専門機関である児童相談所の対応力の強化を図っていく。
 ・子育て中の家庭を地域全体で見守り、支援することができる環境づくりに向けて、地域住民・関係機関に対する啓発の推進や、「こんにちは赤ちゃん事業」など、家庭訪問による子育て支援情報の提供や育児相談等を行う取組を推進し、子育て家庭の不安や負担感、孤立感の解消に努め、児童虐待の未然防止につなげる。
 ・現行の虐待相談ホームページが、開設後約10年が経過していることを踏まえ、コンテンツの更なる充実に向けた検討やホームページ以外の広報手段を含め効果的な情報発信に努めていく。

施策名	1302	子どものいのちと人権が大切にされるまちづくり				
-----	------	------------------------	--	--	--	--

指標名	虐待相談に対し速やかに対応（48時間以内）した件数の割合（％）					
-----	---------------------------------	--	--	--	--	--

担当課	児童福祉センター児童相談所		連絡先	801-2929		
-----	---------------	--	-----	----------	--	--

1 指標の説明

虐待相談通告について、48時間以内に児童の安全を確認した割合

2 指標の意味

社会の宝である子どもの人権を守るための早急な対応状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：虐待通告件数に対し、48時間以内に児童の安全確認ができなかった件数を差し引いた割合
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	26年度	27年度		数値	根拠	達成度
数値	98.0	96.6	1.4ポイント減	100	完全実施すべき数値	96.6%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%
b：96%以上～100%未満
c：92%以上～96%未満
d：88%以上～92%未満
e：88%未満

6 基準説明

当該指標については、国の通知に基づき、48時間以内に被虐待児童の安全確認を行うことを原則としているため、100%をa、それ以下を4%刻みで設定した。

7 評価結果

26	27	28
b	b	b

指標名	虐待相談ホームページアクセス件数（件）					
-----	---------------------	--	--	--	--	--

担当課	児童福祉センター児童相談所		連絡先	801-2929		
-----	---------------	--	-----	----------	--	--

1 指標の説明

児童相談所ホームページ「あした笑顔になあれ～子どもＳＯＳ児童虐待防止ウェブサイト～」のアクセス件数

2 指標の意味

社会の宝である子どもの人権の保護に向けた市民の関心度を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	26年度	27年度		数値	根拠	達成度
数値	98,319	43,359	54,960件減	108,151	前年度実績の1割増	40.1%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：90%以上～100%未満
c：80%以上～90%未満
d：70%以上～80%未満
e：70%未満

6 基準説明

当該指標については児童虐待防止のため周知・啓発の強化を行っていることから、100%以上をa、それ以下を10%刻みで設定した。

7 評価結果

26	27	28
d	d	e